

三重県
「犯罪から県民を守るアクションプログラム
(仮称)」に係る県民意識調査
調査結果報告書
＜概要版＞

平成 28 年 4 月

三 重 県

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
(1)	回答者属性	2
(2)	治安について	3
(3)	地域での防犯について	11
(4)	犯罪に対する意識について	13
(5)	交通安全について	17
(6)	テロについて	22
(7)	インターネット犯罪について	24
(8)	違法薬物・危険ドラッグ等について	25

I 調査の概要

1 調査の目的

三重県では、県民のみなさんとともに、県を挙げて犯罪をなくすための取組を進めるための総合的な計画「犯罪から県民を守るアクションプログラム（仮称）」の策定に向けた準備を進めています。今回の調査は、この計画の策定について、県民のみなさんの防犯に対する意識や安全で安心なまちづくりに対する意識を把握するための基礎として、調査を実施するものです。

2 調査対象

三重県在住の20歳以上を無作為抽出

3 調査期間

平成28年1月28日から平成28年2月15日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
3,000通	1,530通	51.0%

6 調査結果の表示方法

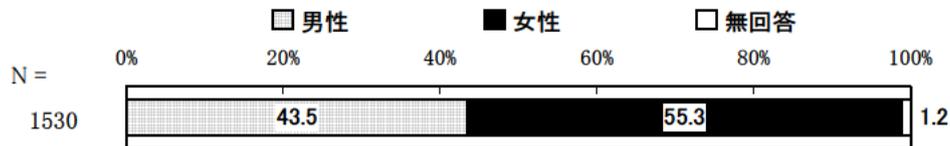
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）

II 調査結果

(1) 回答者属性

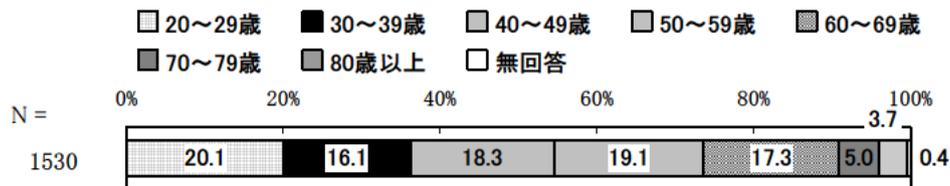
問1 あなたの性別はどちらですか。

「男性」の割合が43.5%、「女性」の割合が55.3%となっています。



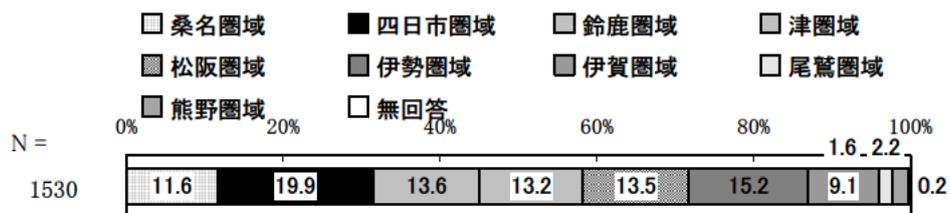
問2 あなたの年齢をお答えください。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

「20～29歳」の割合が20.1%と最も高く、次いで「50～59歳」の割合が19.1%、「40～49歳」の割合が18.3%となっています。



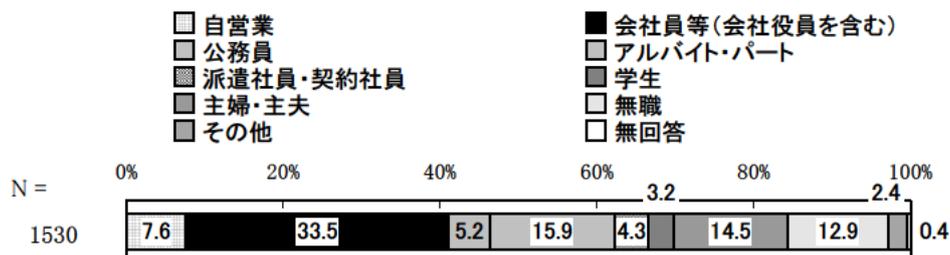
問3 お住まいの住居地はどちらですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

「四日市圏域」の割合が19.9%と最も高く、次いで「伊勢圏域」の割合が15.2%、「鈴鹿圏域」の割合が13.6%となっています。



問4 あなたの現在の職業は次のうちどれですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

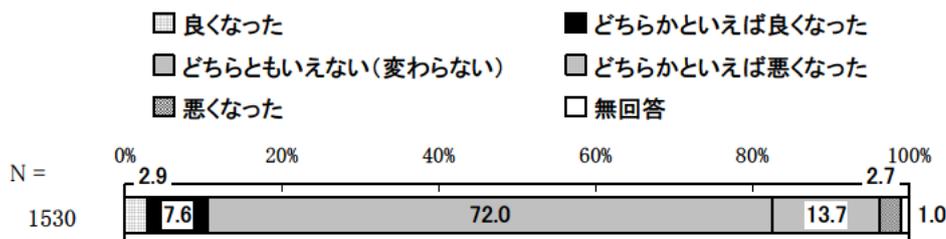
「会社員等(会社役員を含む)」の割合が33.5%と最も高く、次いで「アルバイト・パート」の割合が15.9%、「主婦・主夫」の割合が14.5%となっています。



(2) 治安について

問5 あなたの住む地域では、3年前と比較して、治安はどのようになったと思いますか。
(もっともあてはまる番号1つに○をつけてください。)

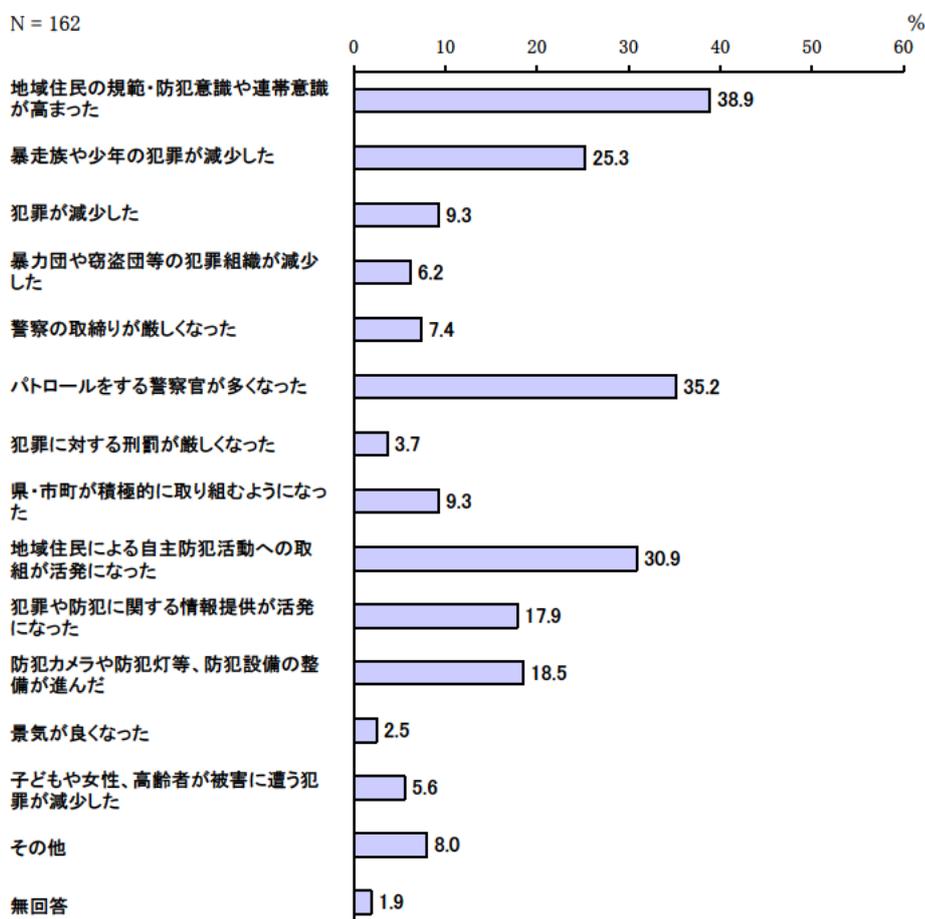
「良くなった」と「どちらかといえば良くなった」をあわせた“良くなった”の割合が10.5%、「どちらともいえない(変わらない)」の割合が72.0%、「どちらかといえば悪くなった」と「悪くなった」をあわせた“悪くなった”の割合が16.4%となっています。



問5で「1. 良くなった」「2. どちらかといえば良くなった」に○をつけた方におたずねします。

問5-1 治安が良くなったと思う理由は何ですか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

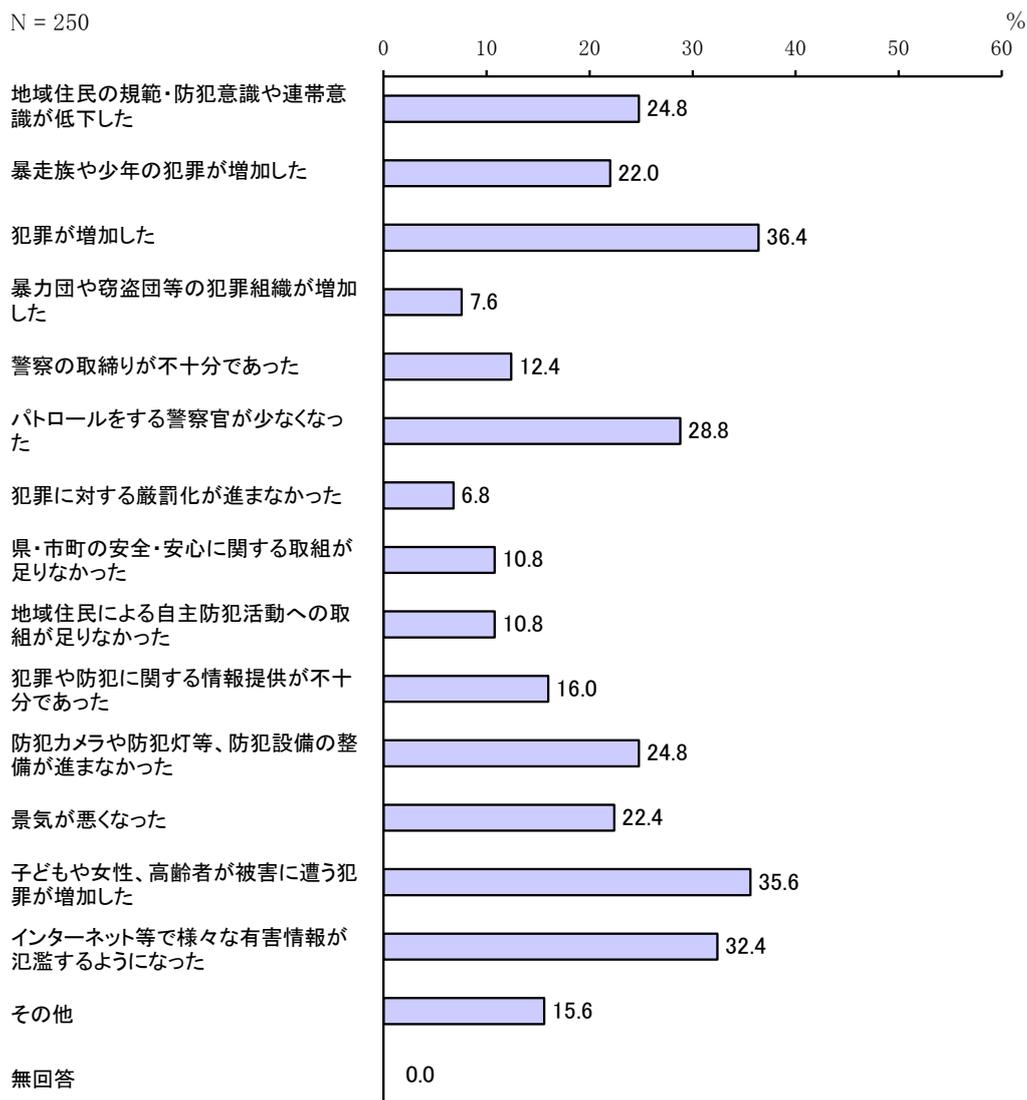
「地域住民の規範・防犯意識や連帯意識が高まった」の割合が38.9%と最も高く、次いで「パトロールをする警察官が多くなった」の割合が35.2%、「地域住民による自主防犯活動への取組が活発になった」の割合が30.9%となっています。



問5で「4. どちらかといえば悪くなった」「5. 悪くなった」に○をつけた方におたずねします。

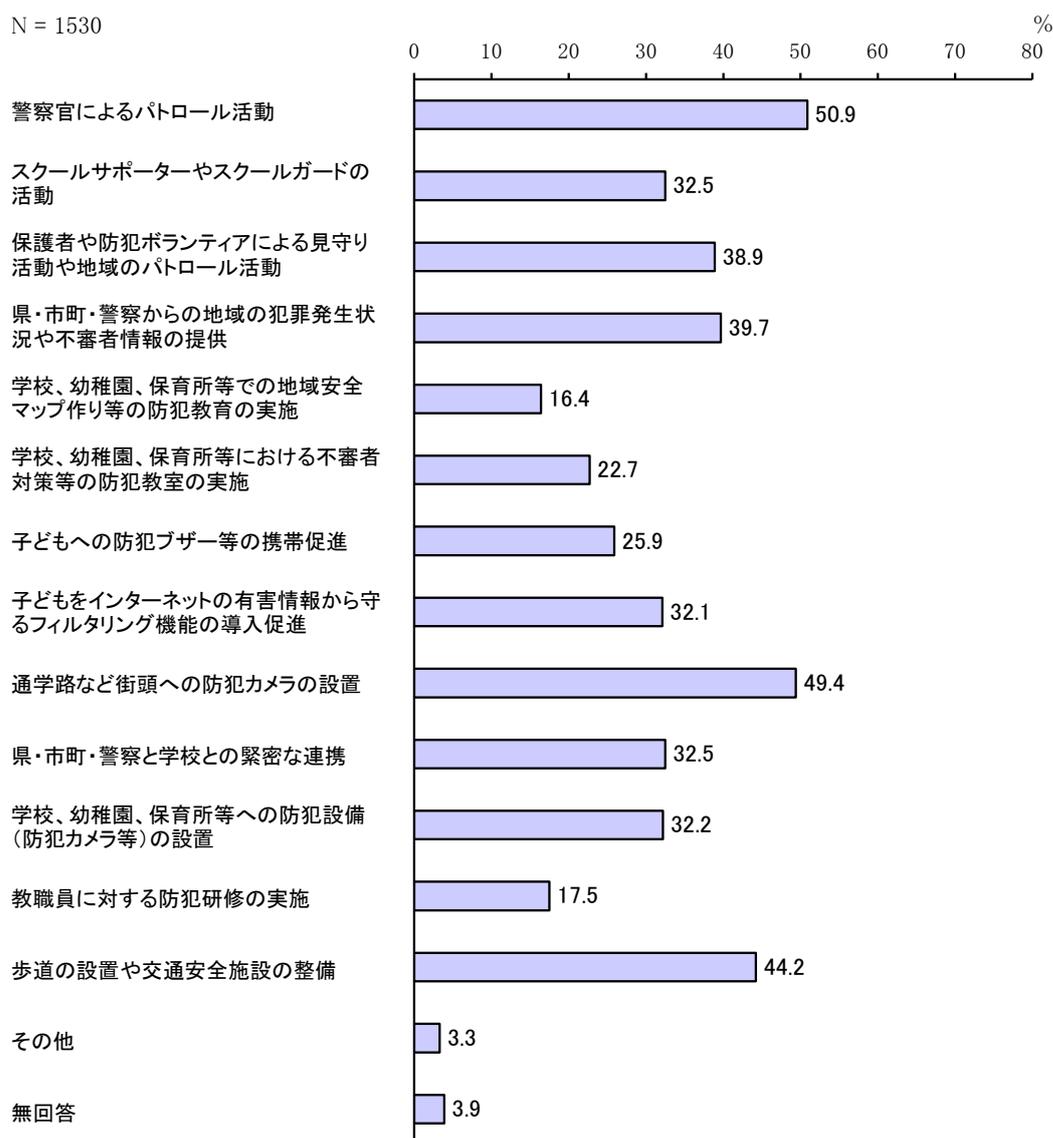
問5-2 治安が悪くなったと思う理由は何ですか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

「犯罪が増加した」の割合が36.4%と最も高く、次いで「子どもや女性、高齢者が被害に遭う犯罪が増加した」の割合が35.6%、「インターネット等で様々な有害情報が氾濫するようになった」の割合が32.4%となっています。



問6 子どもを守る対策として、どのようなことを強化してほしいと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

「警察官によるパトロール活動」の割合が50.9%と最も高く、次いで「通学路など街頭への防犯カメラの設置」の割合が49.4%、「歩道の設置や交通安全施設の整備」の割合が44.2%となっています。



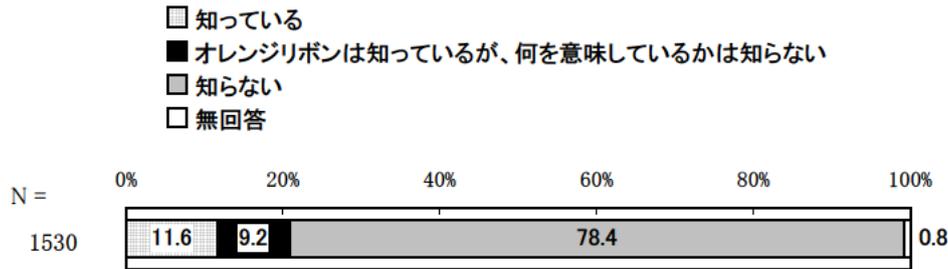
**問7 児童虐待防止のシンボルマークである「オレンジリボン」を知っていますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください。)**

「知らない」の割合が78.4%と最も高く、次いで「知っている」の割合が11.6%となっています。

性別でみると、大きな差異はみられません。

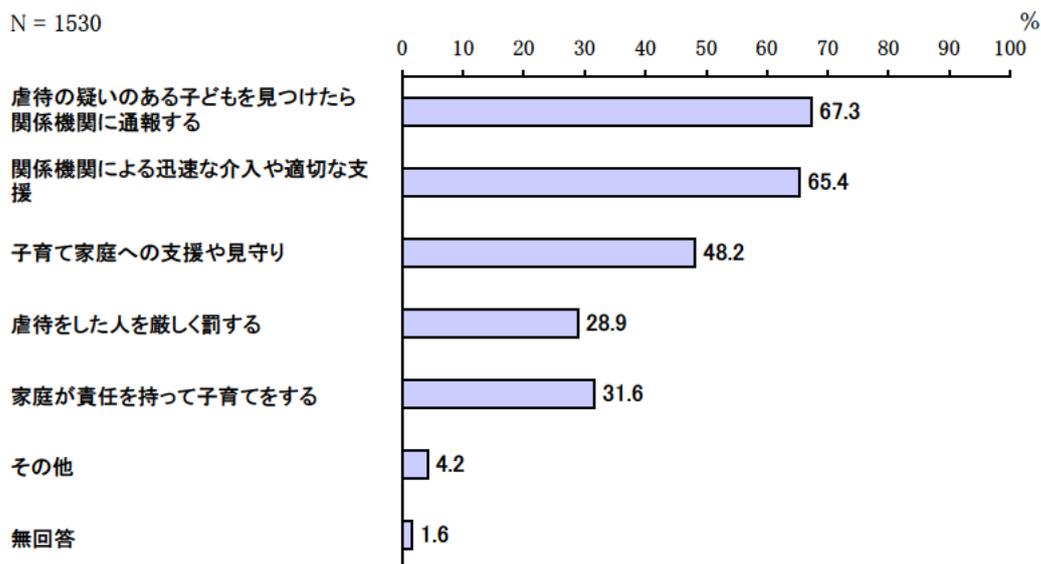
年代別でみると、70～79歳、80歳以上で「知っている」の割合が低くなっています。

地域別でみると、他の地域に比べ、伊賀圏域、尾鷲圏域で「知っている」の割合が高くなっています。



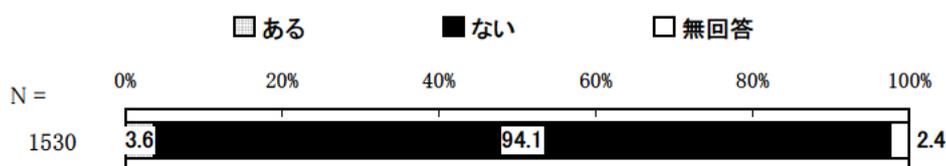
**問8 児童虐待を防ぐためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)**

「虐待の疑いのある子どもを見つけたら関係機関に通報する」の割合が67.3%と最も高く、次いで「関係機関による迅速な介入や適切な支援」の割合が65.4%、「子育て家庭への支援や見守り」の割合が48.2%となっています。



問9 ドメスティック・バイオレンス（DV）被害に遭った経験がありますか。（どちらかあてはまる番号に○をつけてください。）

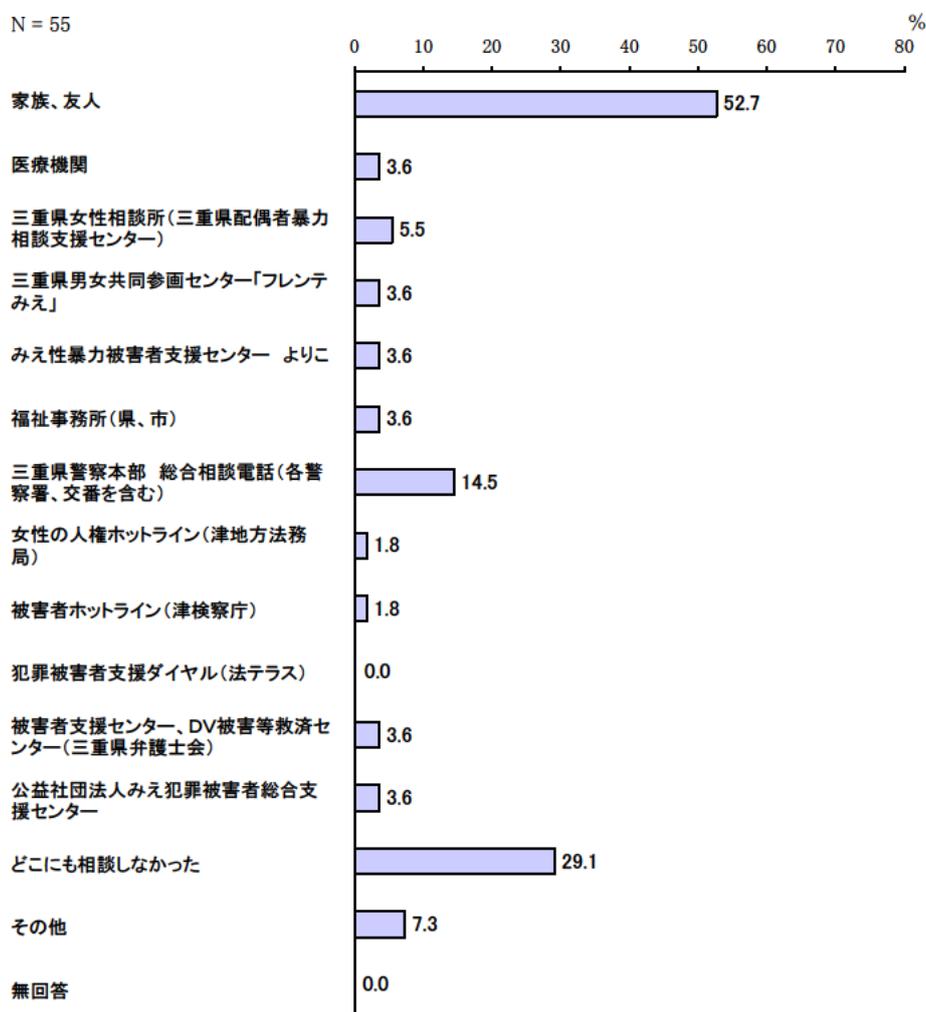
「ある」の割合が3.6%、「ない」の割合が94.1%となっています。
 性別でみると、大きな差異はみられません。
 年代別でみると、他の年代に比べ、80歳以上で「ない」の割合が低くなっています。
 地域別でみると、大きな差異はみられません。



問9で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。

問9-1 ドメスティック・バイオレンス（DV）被害についてどこ（誰）へ相談しましたか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください。）

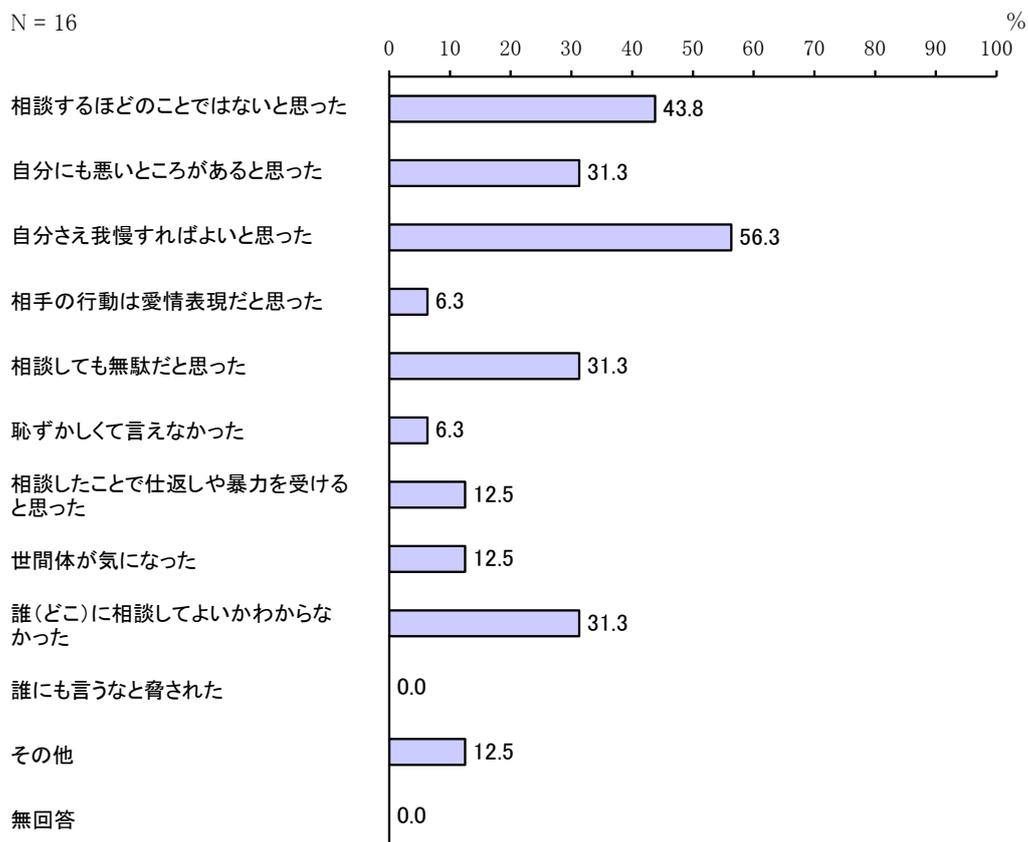
「家族、友人」の割合が52.7%と最も高く、次いで「どこにも相談しなかった」の割合が29.1%、「三重県警察本部 総合相談電話（各警察署、交番を含む）」の割合が14.5%となっています。
 性別、年代別、地域別については、有効回答数が少ないため参考とします。



問9-1で「13. どこにも相談しなかった」に○をつけた方におたずねします。

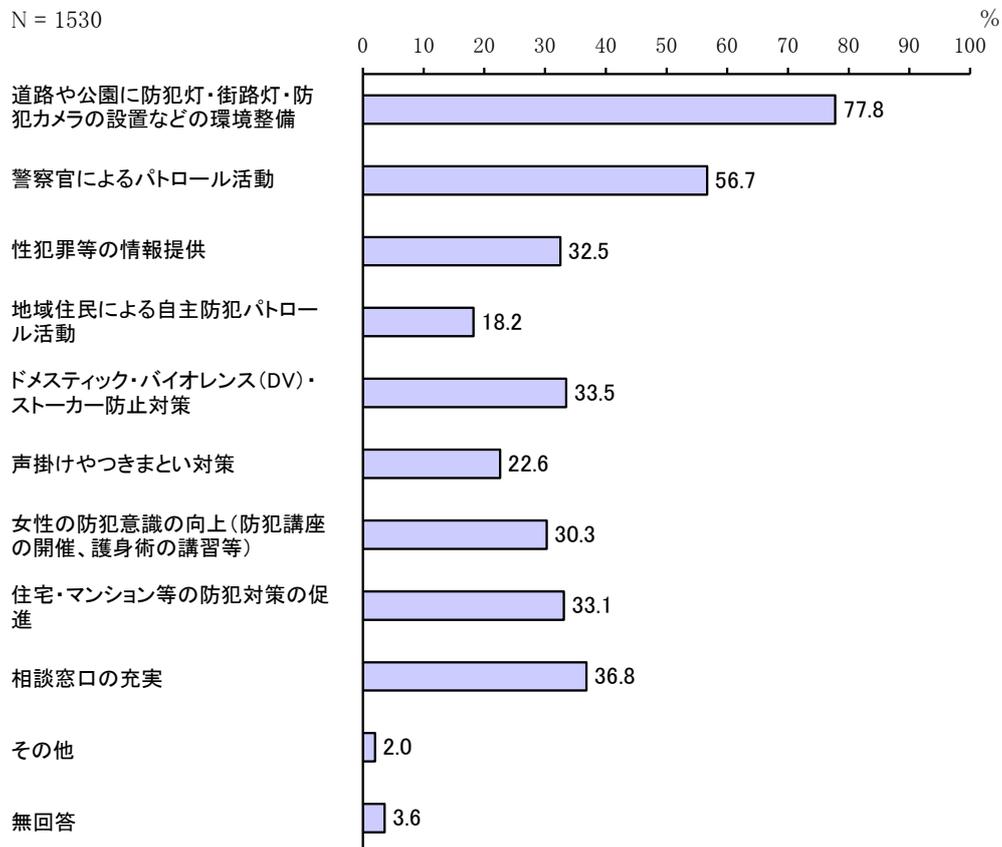
問9-2 どこにも相談しなかった理由は何ですか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

「自分さえ我慢すればよいと思った」の割合が56.3%と最も高く、次いで「相談するほどのことではないと思った」の割合が43.8%、「自分にも悪いところがあると思った」、「相談しても無駄だと思った」、「誰(どこ)に相談してよいかわからなかった」の割合が31.3%となっています。



問10 女性を犯罪から守るためには、どのようなことを強化してほしいと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

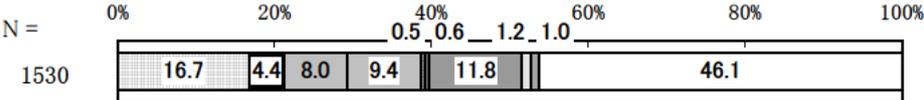
「道路や公園に防犯灯・街路灯・防犯カメラの設置などの環境整備」の割合が77.8%と最も高く、次いで「警察官によるパトロール活動」の割合が56.7%、「相談窓口の充実」の割合が36.8%となっています。



問 11 振り込め詐欺等の特殊詐欺の被害に遭わないために、最も有効であると思うものは何ですか。(もっともあてはまる番号1つに○をつけてください。)

「最新の犯罪手口に関する情報提供」の割合が16.7%と最も高く、次いで「家庭内における情報の共有とルール作り」の割合が11.8%となっています。

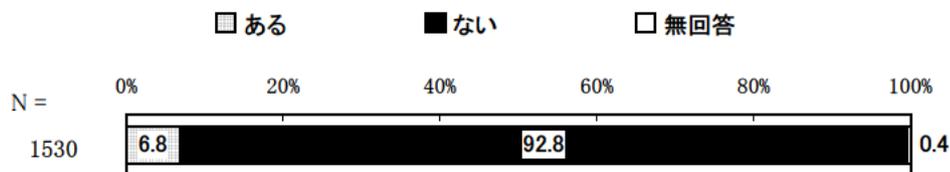
- 最新の犯罪手口に関する情報提供
- 敬老会などの会合や自動車教習所での高齢者講習などを活用した被害防止広報
- 不審な取引を監視するATMシステムの改良
- 金融機関の職員による声掛けの徹底
- 県・市町による特殊詐欺の未然防止に関する研修会
- 県・市町が主催する特殊詐欺撲滅に向けた県民運動
- 家庭内における情報の共有とルール作り
- 被害防止を啓発するポスター、チラシの配布
- その他
- 無回答



(3) 地域での防犯について

問 12 地域で行われている防犯ボランティア活動に参加されたことはありますか。
(どちらかあてはまる番号に○をつけてください。)

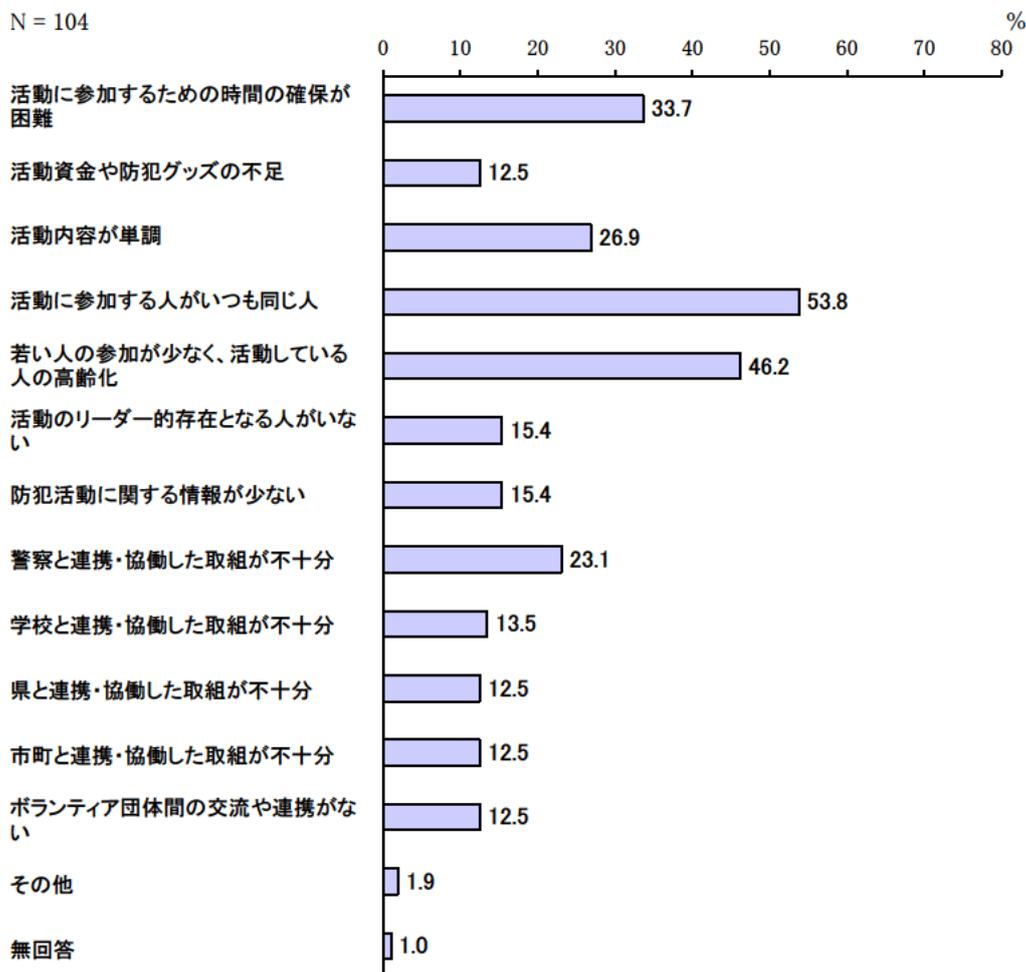
「ある」の割合が6.8%、「ない」の割合が92.8%となっています。



問 12 で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。

問 12-1 防犯ボランティア活動に参加されて感じた問題点は何ですか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

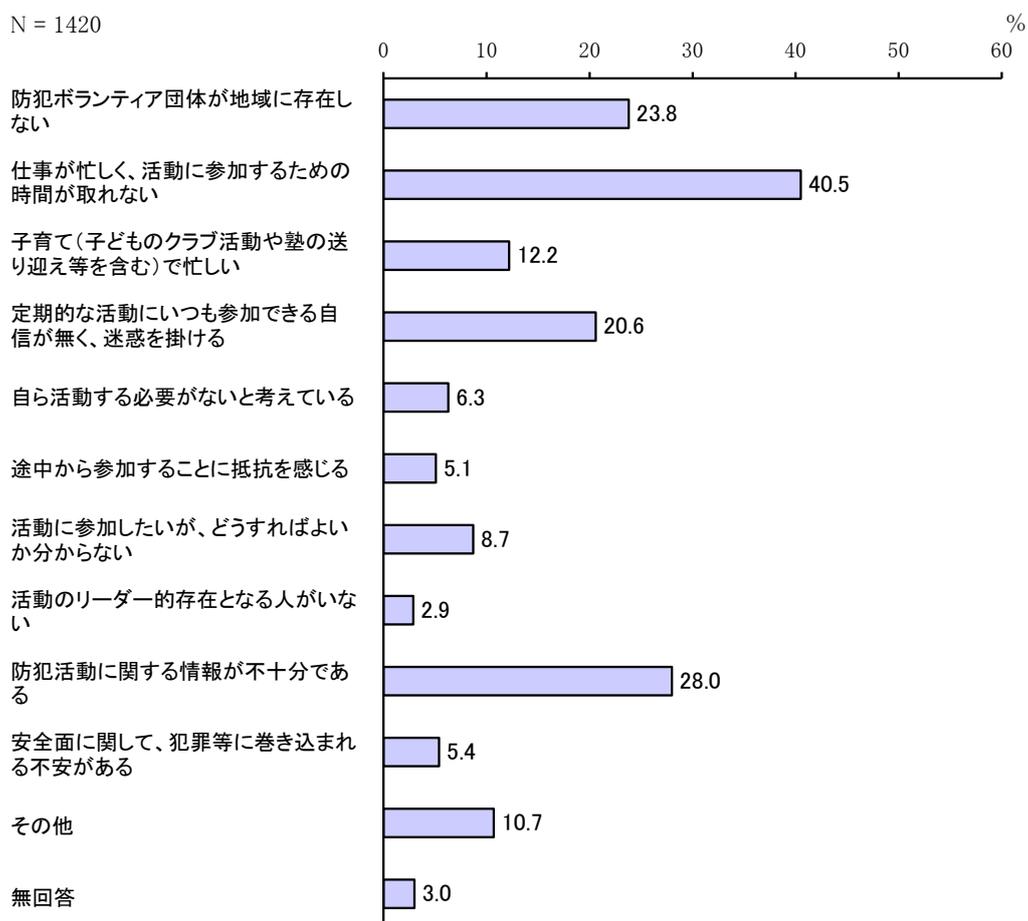
「活動に参加する人がいつも同じ人」の割合が53.8%と最も高く、次いで「若い人の参加が少なく、活動している人の高齢化」の割合が46.2%、「活動に参加するための時間の確保が困難」の割合が33.7%となっています。



問 12 で「2. ない」に○をつけた方におたずねします。

問 12-2 防犯ボランティア活動に参加されない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

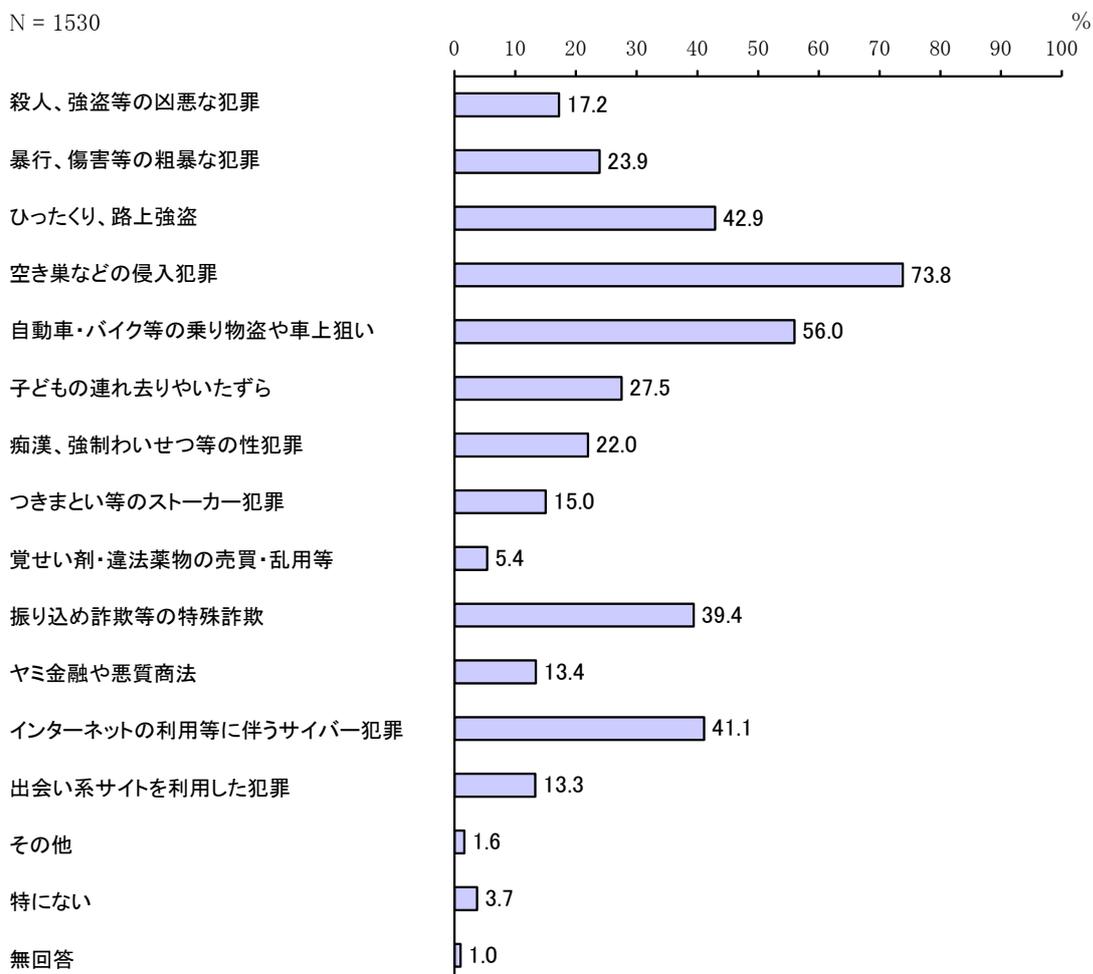
「仕事が忙しく、活動に参加するための時間が取れない」の割合が 40.5%と最も高く、次いで「防犯活動に関する情報が不十分である」の割合が 28.0%、「防犯ボランティア団体が地域に存在しない」の割合が 23.8%となっています。



(4) 犯罪に対する意識について

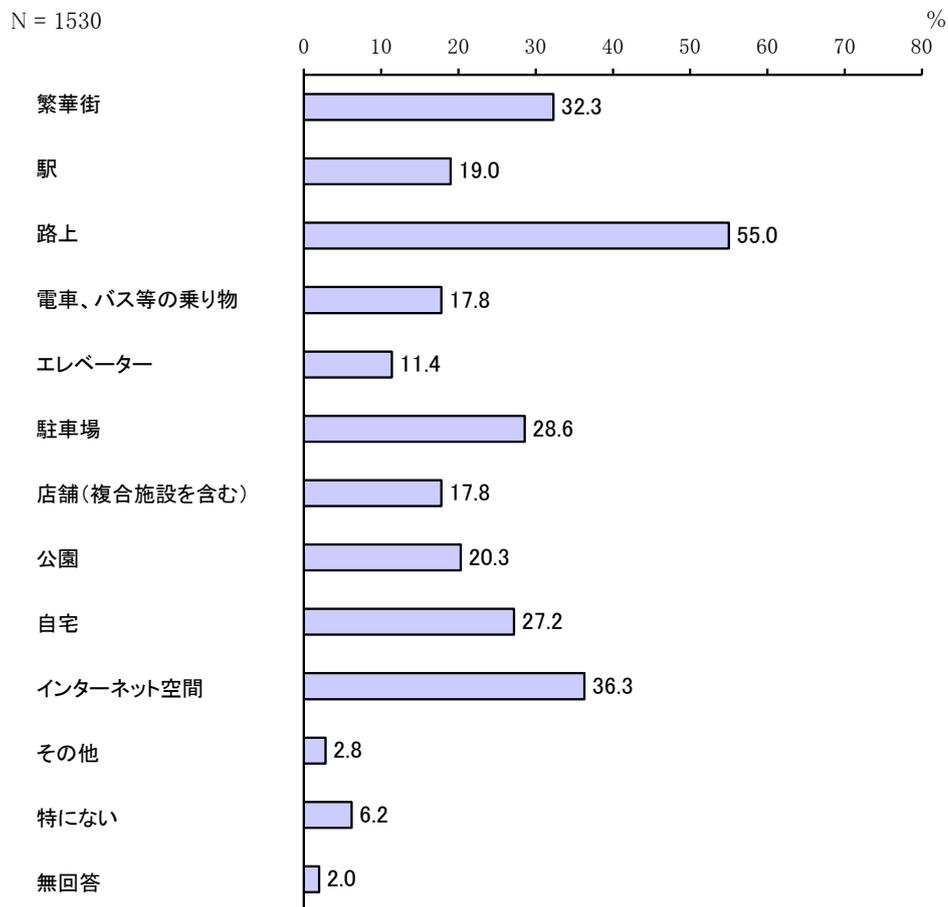
問 13 日常生活において、自分や身近な人が被害に遭うかもしれないと感じる犯罪は何ですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

「空き巣などの侵入犯罪」の割合が73.8%と最も高く、次いで「自動車・バイク等の乗り物盗や車上狙い」の割合が56.0%、「ひったくり、路上強盗」の割合が42.9%となっています。



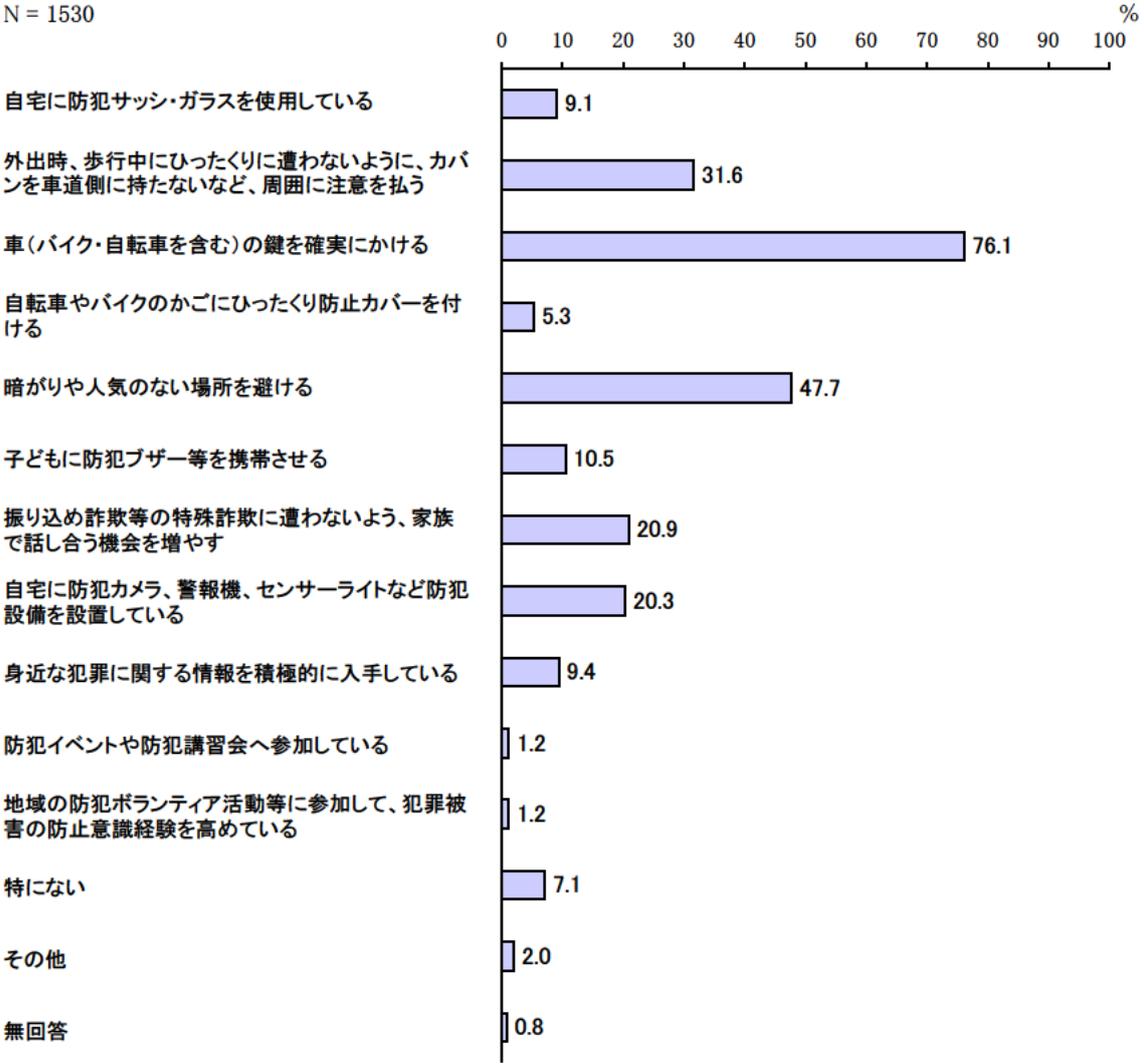
問 14 自分や身近な人が犯罪に遭うかもしれないと、不安を感じる場所はどこですか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

「路上」の割合が 55.0%と最も高く、次いで「インターネット空間」の割合が 36.3%、「繁華街」の割合が 32.3%となっています。



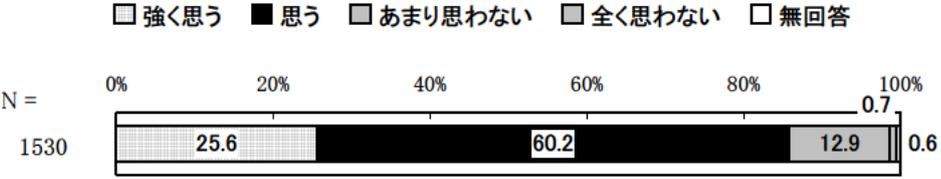
問 15 過去3年間に振り返り、犯罪被害に遭わないためにどのようなことに気を付けていますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

「車（バイク・自転車を含む）の鍵を確実にかける」の割合が76.1%と最も高く、次いで「暗がりや人気のない場所を避ける」の割合が47.7%、「外出時、歩行中にひったくりに遭わないように、カバンを車道側に持たないなど、周囲に注意を払う」の割合が31.6%となっています。



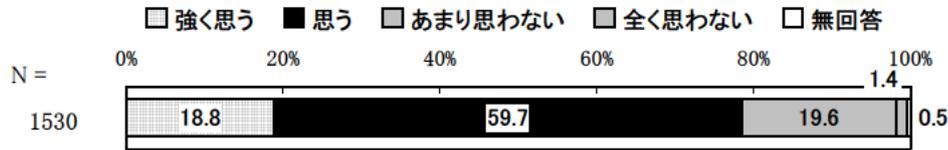
問 16 道路、公園、駐車場などに防犯カメラを設置することで、犯罪や迷惑行為が減少すると思いますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

「強く思う」と「思う」をあわせた“思う”の割合が85.8%、「あまり思わない」と「全く思わない」をあわせた“思わない”の割合が13.6%となっています。



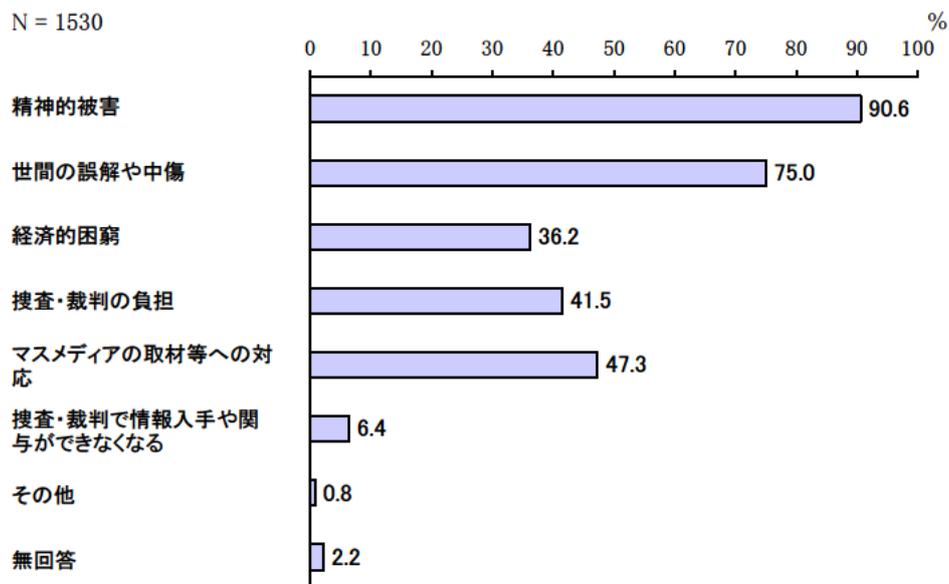
問 17 道路、公園、駐車場などに防犯カメラが設置されることで、犯罪に遭う不安が減ると思いますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

「強く思う」と「思う」をあわせた“思う”の割合が78.5%、「あまり思わない」と「全く思わない」をあわせた“思わない”の割合が21.0%となっています。



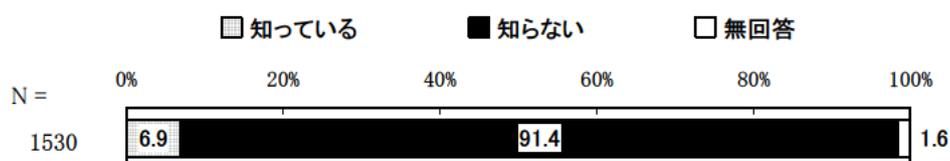
問 18 犯罪被害者やその家族（遺族）が、直接の被害の他に受けられると思われる二次被害はどのようなものがあると思いますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

「精神的被害」の割合が90.6%と最も高く、次いで「世間の誤解や中傷」の割合が75.0%、「マスメディアの取材等への対応」の割合が47.3%となっています。



問 19 性犯罪や性暴力被害に遭われた方からの相談に応じて支援する「みえ性暴力被害者支援センター よりこ」を三重県が設置していることを知っていますか。(どちらかあてはまる番号に○をつけてください。)

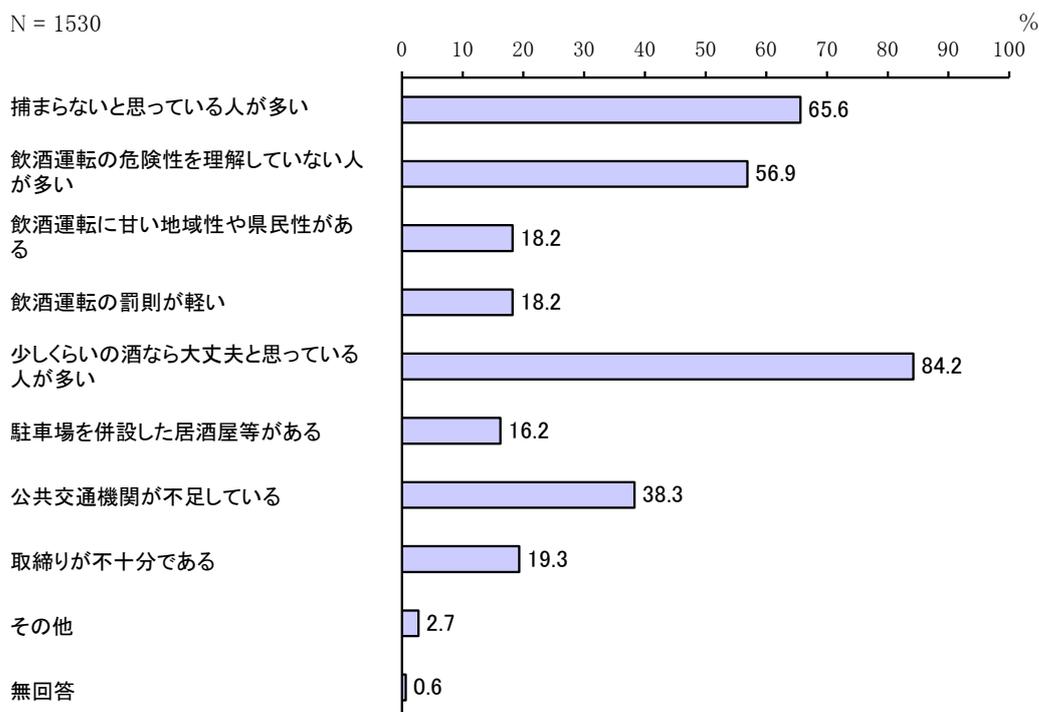
「知っている」の割合が6.9%、「知らない」の割合が91.4%となっています。



(5) 交通安全について

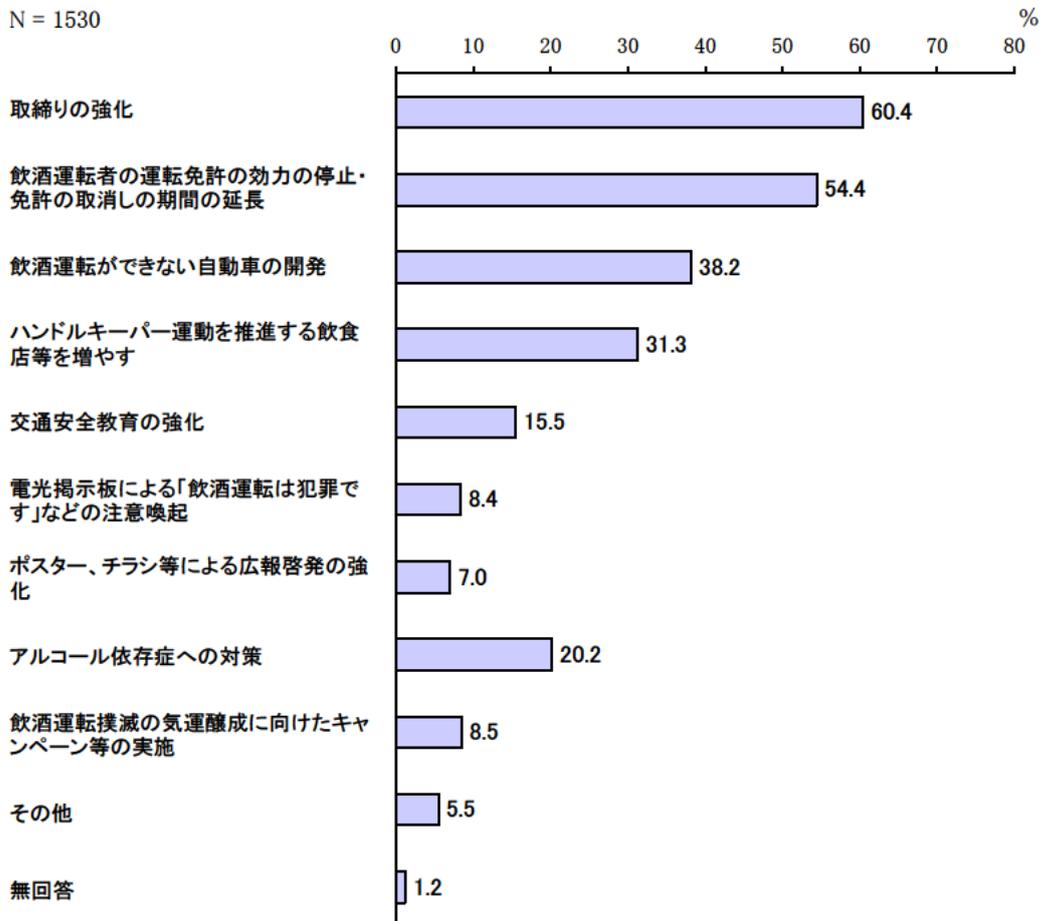
問 20 飲酒運転がなくならないのは何故だと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

「少しくらいの酒なら大丈夫と思っている人が多い」の割合が 84.2%と最も高く、次いで「捕まらないと思っている人が多い」の割合が 65.6%、「飲酒運転の危険性を理解していない人が多い」の割合が 56.9%となっています。



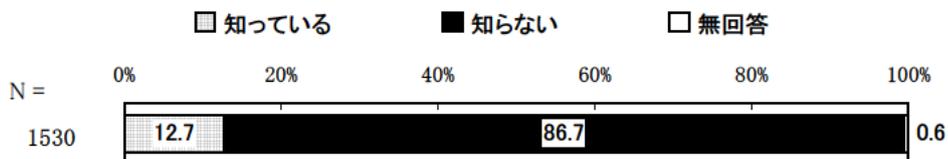
問 21 飲酒運転を根絶させるためには、どのような対策が必要だと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

「取締りの強化」の割合が 60.4%と最も高く、次いで「飲酒運転者の運転免許の効力の停止・免許の取消しの期間の延長」の割合が 54.4%、「飲酒運転ができない自動車の開発」の割合が 38.2%となっています。



問 22 平成 25 年 7 月に施行された「飲酒運転ゼロ〇をめざす条例」について知っていますか。(どちらかあてはまる番号に○をつけてください。)

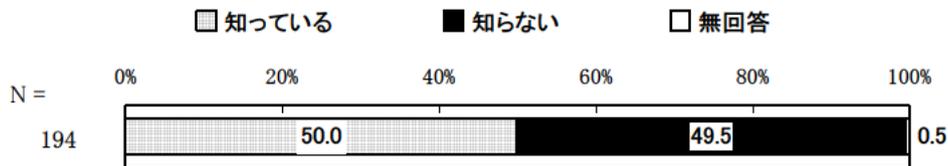
「知っている」の割合が 12.7%、「知らない」の割合が 86.7%となっています。性別でみると、女性に比べ男性で「知っている」の割合が高くなっています。年代別でみると、他の年代に比べ、60～79 歳で「知っている」の割合が高くなっています。地域別でみると、他の地域に比べ、尾鷲圏域で「知っている」の割合が高くなっています。



問 22 で「1. 知っている」に○をつけた方におたずねします。

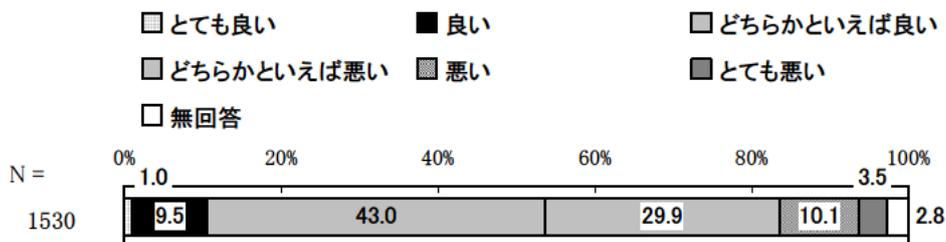
問 22-1 「飲酒運転ゼロ〇をめざす条例」により、飲酒運転で違反者となった場合、アルコール依存症に関する診断を受けなければならないことを知っていますか
(どちらかあてはまる番号に○をつけてください。)

「知っている」の割合が 50.0%、「知らない」の割合が 49.5%となっています。



問 23 三重県内での交通ルールの遵守や自動車等の運転マナーについてどのように思いますか。(あてはまる番号 1 つに○をつけてください。)

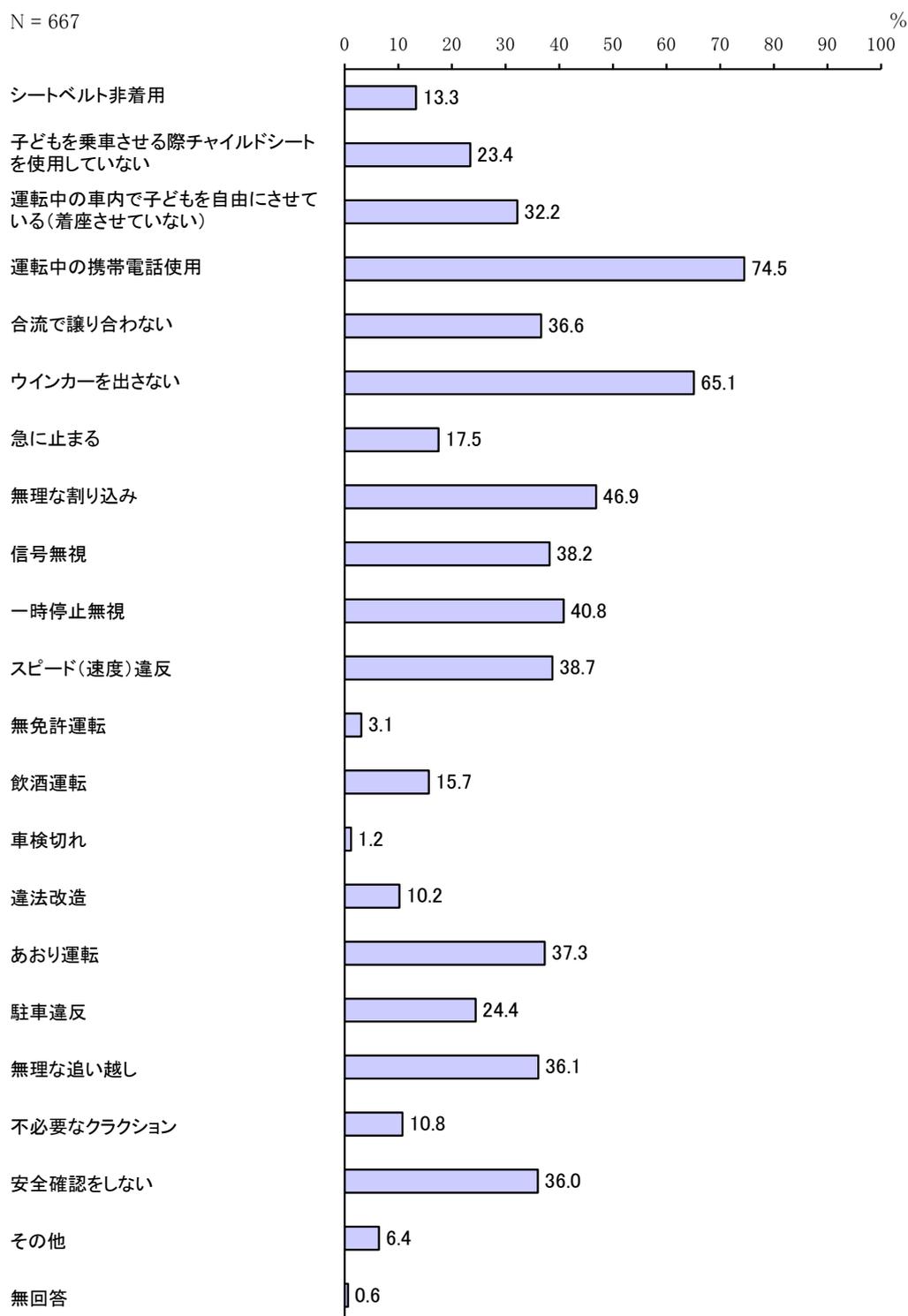
「とても良い」「良い」「どちらかといえば良い」をあわせた“良い”の割合が 53.5%、「どちらかといえば悪い」「悪い」「とても悪い」をあわせた“悪い”の割合が 43.5%となっています。



問 23 で「4. どちらかといえば悪い」「5. 悪い」「6. とても悪い」に○をつけた方におたずねします。

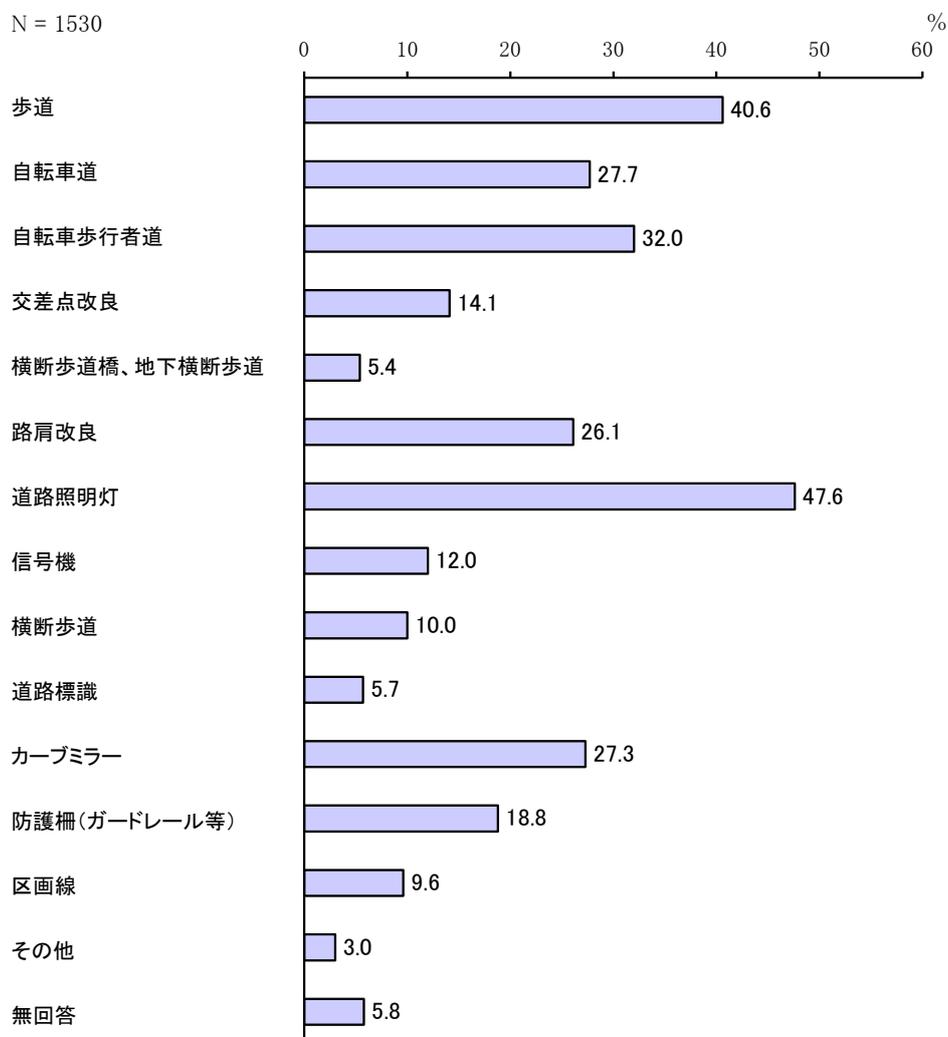
問 23-1 どのような点でそう思いますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

「運転中の携帯電話使用」の割合が 74.5%と最も高く、次いで「ウインカーを出さない」の割合が 65.1%、「無理な割り込み」の割合が 46.9%となっています。



問 24 道路における交通安全施設の整備に関し、あなたの住む地域で必要と思われるものはどれですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

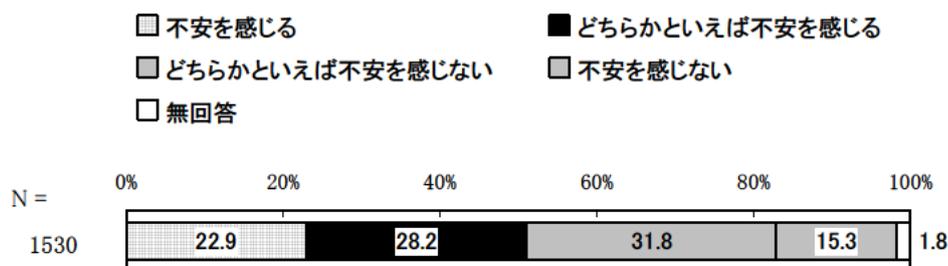
「道路照明灯」の割合が47.6%と最も高く、次いで「歩道」の割合が40.6%、「自転車歩行者道」の割合が32.0%となっています。



(6) テロについて

問 25 県内においてテロが発生する不安はありますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

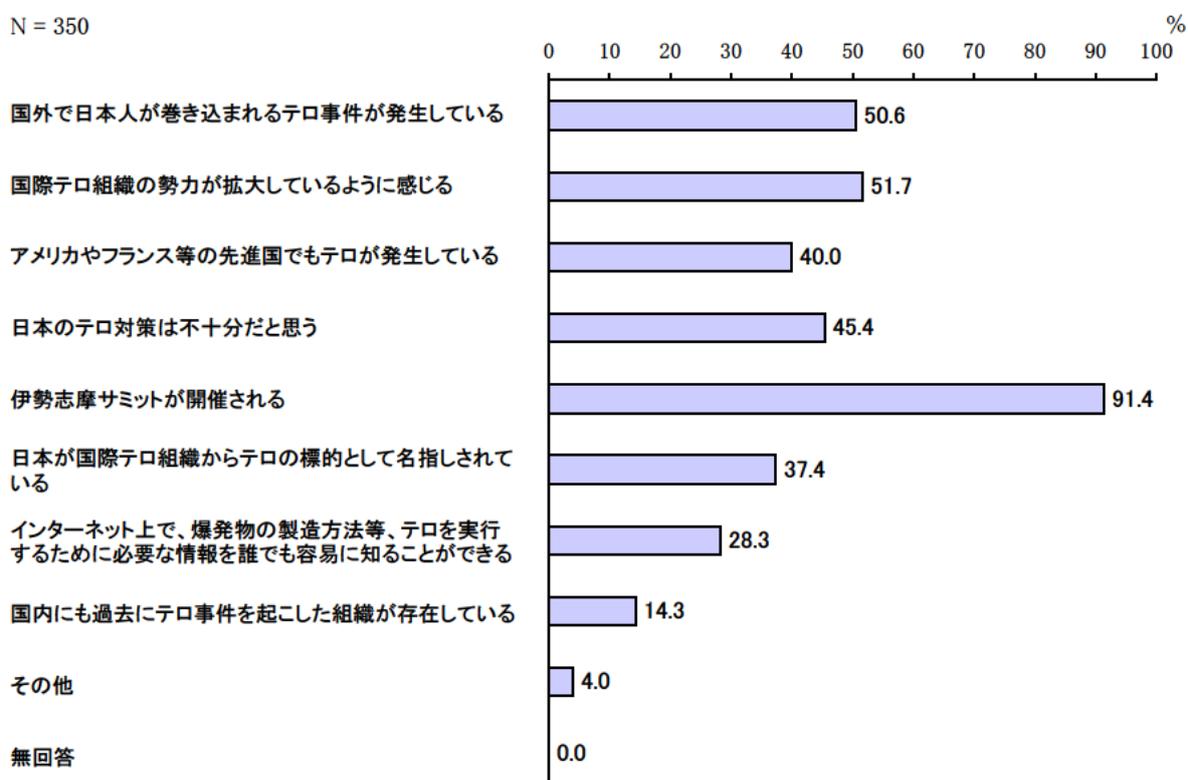
「不安を感じる」と「どちらかといえば不安を感じる」をあわせた“不安を感じる”の割合が51.1%、「どちらかといえば不安を感じない」と「不安を感じない」をあわせた“不安を感じない”の割合が47.1%となっています。



問 25 で「1. 不安を感じる」に○をつけた方におたずねします。

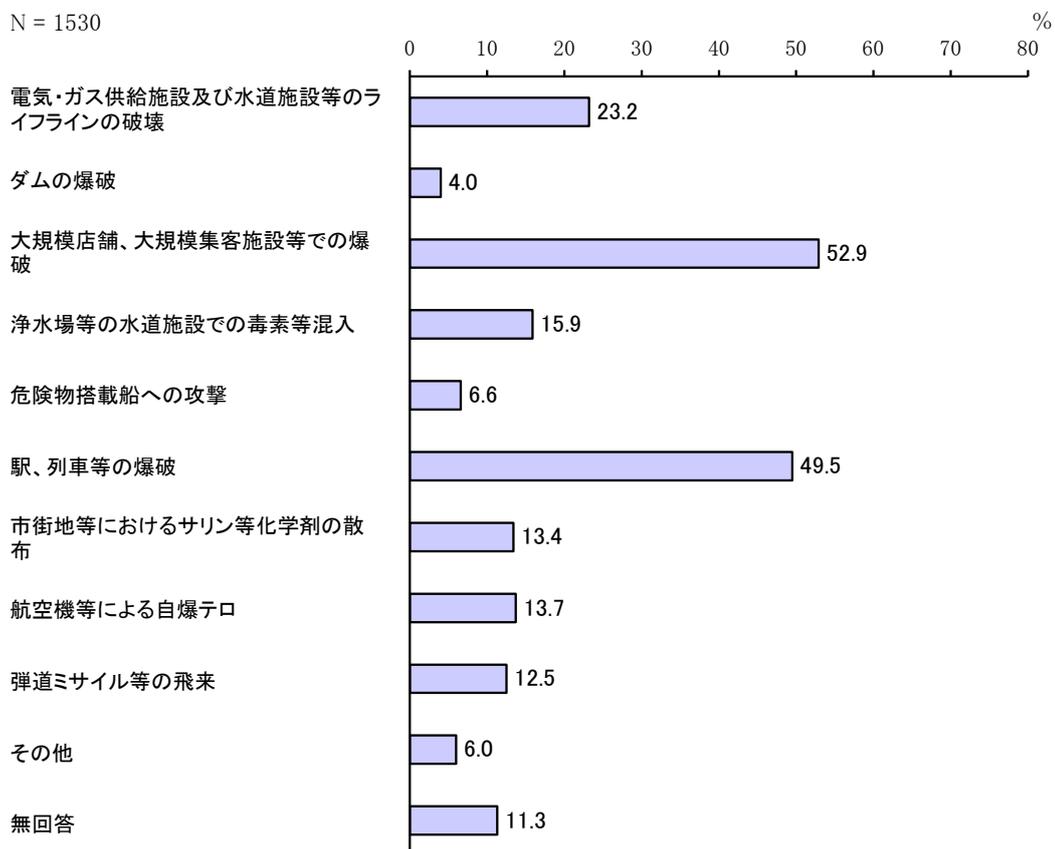
問 25-1 不安を感じる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

「伊勢志摩サミットが開催される」の割合が91.4%と最も高く、次いで「国際テロ組織の勢力が拡大しているように感じる」の割合が51.7%、「国外で日本人が巻き込まれるテロ事件が発生している」の割合が50.6%となっています。



問 26 県内では、どのようなテロが発生しうると思いますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

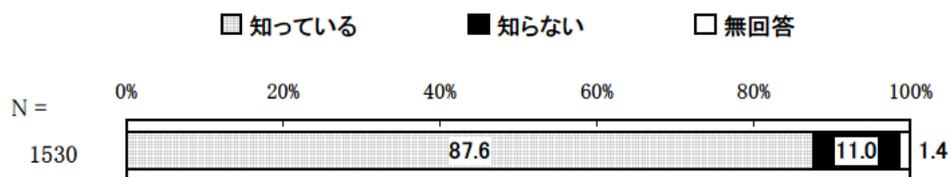
「大規模店舗、大規模集客施設等での爆破」の割合が52.9%と最も高く、次いで「駅、列車等の爆破」の割合が49.5%、「電気・ガス供給施設及び水道施設等のライフラインの破壊」の割合が23.2%となっています。



(8) 違法薬物・危険ドラッグ等について

問 29 違法薬物等・危険ドラッグ等の危険性について知っていますか。
(あてはまる番号1つに○をつけてください。)

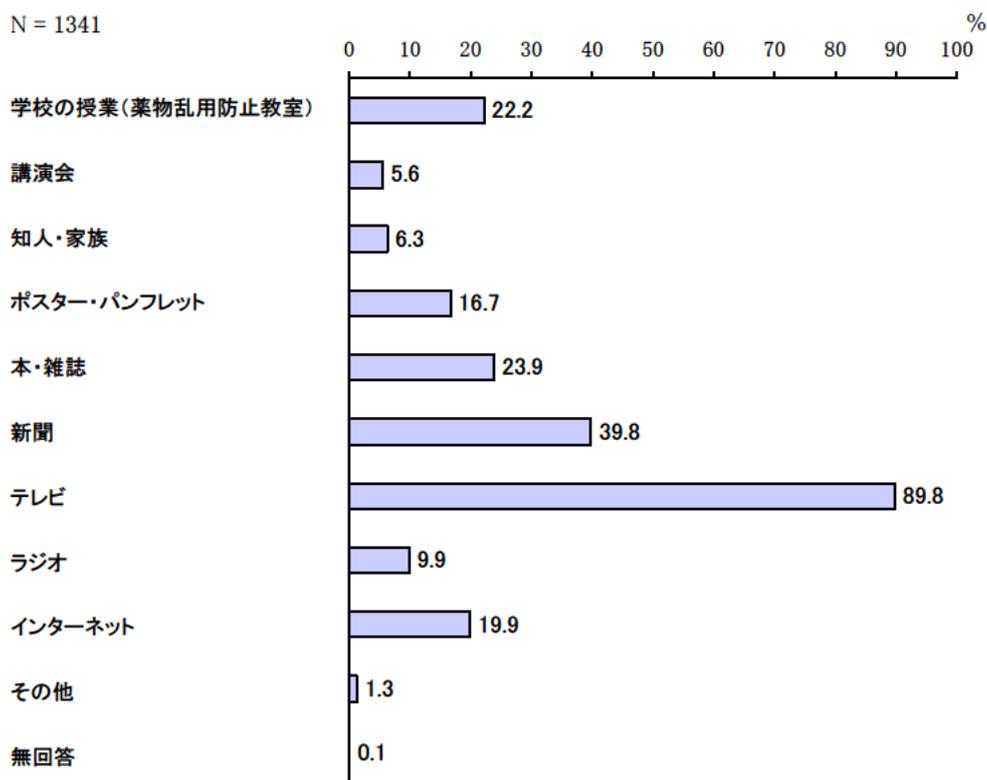
「知っている」の割合が 87.6%、「知らない」の割合が 11.0%となっています。



問 29 で「1. 知っている」に○をつけた方におたずねします。

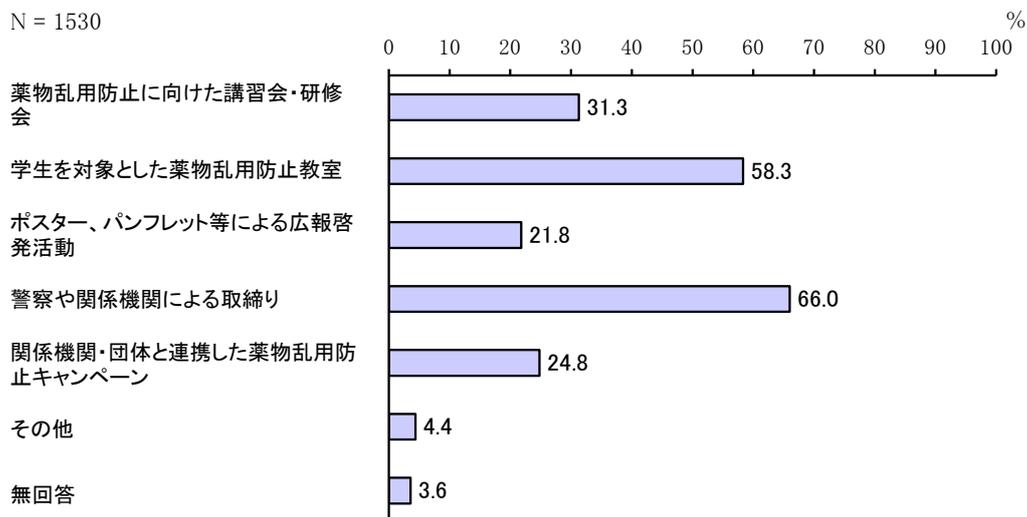
問 29-1 違法薬物等・危険ドラッグ等の危険性についてどこで知りましたか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

「テレビ」の割合が 89.8%と最も高く、次いで「新聞」の割合が 39.8%、「本・雑誌」の割合が 23.9%となっています。



問 30 違法薬物等・危険ドラッグ等による被害を減らすためには、どのようなことを強化する必要があると思いますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

「警察や関係機関による取締り」の割合が 66.0%と最も高く、次いで「学生を対象とした薬物乱用防止教室」の割合が 58.3%、「薬物乱用防止に向けた講習会・研修会」の割合が 31.3%となっています。



三重県「犯罪から県民を守るアクションプログラム（仮称）」
に係る県民意識調査 調査結果報告書
＜概要版＞

平成28年4月

発行：三重県環境生活部 暮らし・交通安全課
〒514-8570 三重県津市広明町13番地
TEL 059-224-2664
FAX 059-228-4907